

報道各位

2018年05月21日  
株式会社大広

～世界中からの最新テクノロジーが集まる CES2019  
ユーレカ・パーク(Eureka Park)での出展をサポート！～  
**日本のスタートアップ企業を世界へ送り出す「JAPAN TECH」出展募集がスタート**  
2018年6月5日(東京)、6月7日(大阪)で説明会を開催！



**JAPAN TECH**



株式会社大広(代表取締役社長:落合寛司(以下大広))は、CES 公認エージェンシーの株式会社クリイティブ・ヴィジョン、株式会社フィラメントとの3社共同で、2019年1月8日～11日の4日間、アメリカのネバダ州、ラスベガスで開催予定の、世界最大級のテクノロジー見本市「CES2019」における「JAPAN TECH」出展企業の募集を、2018年6月5日から開始します。

JAPAN TECH project は、日本国内のスタートアップ企業の最新のテクノロジーを世界へ発信するための支援をおこなう活動です。本年は、世界の多くの投資家や企業が足を運ぶユーレカ・パーク(Eureka Park)に出展スペースを確保しました。また、出展サービスの内容や応募についての理解を深めてもらうため6月5日(東京)、7日(大阪)で、説明会を開催します。

大広は、JAPAN TECH project の中で、プロジェクトの企画・推進やブランディング、出展企業のコミュニケーションの支援を担い、本活動のエンジンとなってプロジェクトを盛り上げ、日本のテクノロジーの開拓・育成をめざします。また、コミュニケーション領域のみならず、スタートアップ企業のビジネスを加速させ、成功に導くアクティベーションデザイン・パートナーとして、技術シーズから新たな生活者ニーズを創出するための事業開発支援にも積極的に取り組みます。

大広は、これからも JAPAN TECH project の活動を通して、日本のテクノロジーの未来の開拓と育成に取り組み、社会とくらしの発展に貢献していくことを目指してまいります。

---

【リリースに関するお問い合わせ先】 株式会社大広 総務局広報部 (長谷川) tel:03-6364-8601  
【出展に関するお問い合わせ】 JAPAN TECH PROJECT 窓口 (石丸) tel:06-7174-8499

## ■「JAPAN TECH」出展説明会について

### ① 開催内容

CES2019 JAPAN TECH スタートアップ企業出展説明会

### ② 開催日時/会場

【東京】 2018年6月5日(火)19:00～(18:30 受付開始)DMM.make AKIBA

(<https://akiba.dmm-make.com/>)

東京都千代田区神田練塀町3 富士ソフト秋葉原ビル

【大阪】 2018年6月7日(木)19:00～(18:30 受付開始)

The DECK(<http://thedeck.jp/>)

大阪府中央区南本町2-1-1 1F

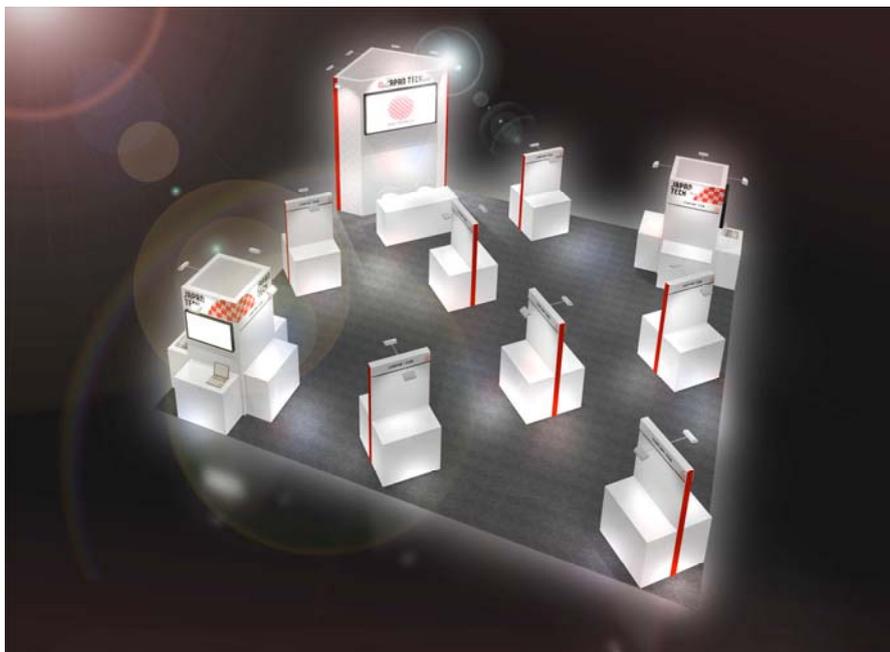
### ③ 参加お申込み方法

こちらにアクセスしてお申込み手続きを完了してください。 → <https://ces-japantech.jp/exhibit/>

### ④ 料 金

無料

## ■出展の応募方法について



### ① 応募期間

2018年6月5日(火) ～ 2018年7月31日(火)

## ② 応募方法

JAPAN TECH 公式サイトからお申込み可能です → <https://ces-japantech.jp/exhibit/>

※応募フォームは 6 月 5 日のオープンを予定していますので、応募ご希望者は、6 月 5 日以降にアクセスをお願いします。

応募要件(※CES 主催者による発表資料に基づく)

### ③ 出展製品が、ユーザーに有益な技術製品であること。

- その製品が革新的で、新たな市場に良い影響を与えるものであること。
- 出展段階で製品化されていなくても、3 年以内に商用開始できるものであること。
- CES 会期後 9 ヶ月以内に商用化できるものであれば、ソフトウェア、オンラインサービスも出展製品として認める。
- すでに商用開始されている製品は、CES への出展契約 12 ヶ月以内に商用開始されたものに限られる。
- 出展製品は、プロトタイプまたはモックアップなどカタチのあるものとし、製品企画やコンセプトレベルのものは含まれない。
- OEM 製品ではなく、自社ブランド製品であること。

### ④ 審査基準

以下の 4 つの視点でプロジェクト推進メンバーが審査をおこないます。

- 話題性: 社会のトレンドに合っているか、社会へのインパクトが大きいか
- 先進性: これまでにない新しい価値を社会や生活者にもたらしているか
- 市場性: 提供価値に大きな潜在ニーズが見込めるか
- プロダクト完成度: 商品化されている、あるいは、商品化の実現性が高いか

※審査は、1 次、2 次と 2 段階でおこないます。

### ⑤ 出展概要

以下のサービスが出展費用に含まれます。

- CES2019 JAPAN TECH ブース内での共同出展(展示台付)
- JAPAN TECH ブースの共通デザイン施工の利用
- 1 社あたり 500W の電気供給
- 出展社 ID 登録、招待 ID 発行のための登録などのサポート資料
- 共有モニター(HDMI ケーブル付)の利用
- 現地のお問い合わせ窓口「JAPAN TECH DESK」の利用可能

また、以下の有料オプションもご用意しております。

- ネット回線
- 電気容量の追加
- モニター(展示台への台置き)

- バッジスキャナ(来場者のIDをスキャナによって取得・管理できるツール)
- その他の追加備品・家具など

※ 現地でのプロモーションツールの制作なども、ご要望に応じて対応させていただきます。

#### ⑥ 出展費用

100万円(税別)

<ご参考>

#### ■CESについて

CESは、「Consumer Electronics Show」つまり「家電展示会」として始まり、昨今のIoTの流れを受けて家電の枠を越えた新しいテクノロジーまでを含む展示会に成長した世界最大の展示会。

(名称もConsumer Electronics Showではなく、現在はCESをそのまま名称としている)

主催は、CTA(全米民生技術協会)。

51年目を迎えた2018年には、28万㎡に及ぶ展示面積の中に3,900を越える展示ブースと300を越えるセッションプログラムを擁し、2万点を越える新製品の発表が行われた。

入場できるのは、メーカー、バイヤー、投資家、メディア等、業界関係者のみ。

商談や販売機会の拡大、クラウドファンディングを含む投資の呼び込み、技術交流、スタートアップ立ち上げの相談からリクルーティングまで。真剣に新しいビジネスを生み出そうとする場所となっている。

#### ■ユーレカ・パーク(Eureka Park)

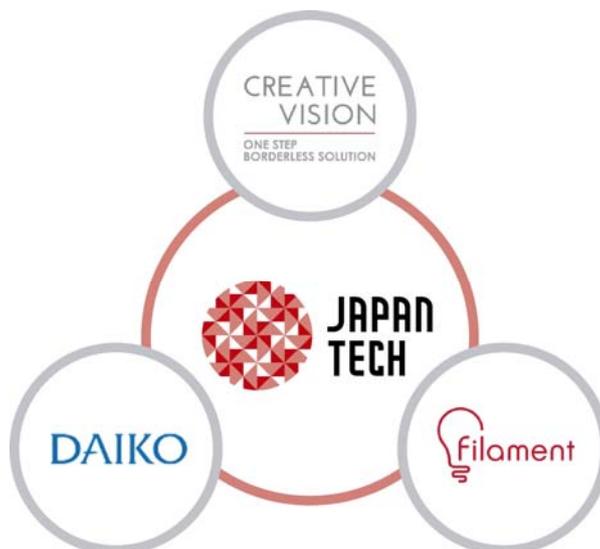
ユーレカ・パークは、CESの中で「スタートアップ」に限って出展が認められるエリア。

「新しいビジネスを開拓できる製品を持っている、あるいは開発しているスタートアップ」という出展条件をクリアした800を越えるニューカマーがひしめき、新たなマーケットを模索するビジネスマンや、将来に花開く投資先を発見しようとする投資家、ニュースを求めるメディアが殺到する名物エリアとなっている。

#### ■JAPAN TECH PROJECTについて (公式サイト: <https://ces-japantech.jp/>)

「日本の技術力を世界に届けたい」「テクノロジーの未来を担う日本企業が生まれてほしい」という想いをもちた企業が集結し、プロジェクトがスタートした。JAPAN TECH PROJECTを通して、一つでも多くの日本企業が、グローバル舞台に立って日本の革新的な技術を発信し、また、世界における最新トレンドを五感で感じ、さらに、新しいビジネスパートナーとの出会いにつなげて頂きたい、という願いを込めて進められた企画。本プロジェクトが、企業の海外進出の後押しとなり、それが、“JAPAN”ブランドをさらに強めることに、未来の日本のテクノロジー発展につながることをめざしている。

(プロジェクト推進メンバー)



株式会社 大広 <https://www.daiko.co.jp/>

大広は、日本全国およびアジアに拠点をもつ総合広告会社です。コミュニケーション領域のみならず、スタートアップ企業のビジネスを加速させ、成功に導くアクティベーションデザイン・パートナーとして、技術シーズから新たな生活者ニーズを創出するための事業開発支援にも積極的に取り組んでいます。本活動のエンジンとなってプロジェクトを盛り上げ、日本のテクノロジーの開拓・育成をめざします。JAPAN TECHでは、プロジェクトの企画・推進やブランディング、出展企業のコミュニケーションの支援を担います。

株式会社 クリエイティブ・ヴィジョン <http://www.creativevisionworld.com/>

クリエイティブ・ヴィジョンは、米国を中心とした国際展示会で、年間 50 件以上の出展を手掛ける日本企業の海外出展をサポートする専門会社です。昨年、日本初・日本で唯一 CES 公認の販売代理店となり(2018 年 4 月時点)、一般販売に先行して JAPAN TECH のスペースを確保。先進性を武器に「世界の先駆け」となる企業が JAPAN TECH を一つの登竜門として羽ばたくことを願っています。JAPAN TECH では、出展のサポートやブースデザイン等パビリオンの企画・運営を担います。

株式会社 フィラメント <http://thefilament.jp/>

フィラメントはオープンイノベーションコンサルティングファームです。ハッカソンやセミナーなどのイベントの企画、オープンイノベーション的アプローチを用いた新規事業創出や、人材育成に関する社内制度の設計をサポートします。製造業を含むクライアントを多く有しており、ものづくりに関するプロジェクトにも多数関わっています。JAPAN TECH では、その知見を活かしてハードウェアスタートアップ企業が CES を通じて世界に羽ばたくためのサポート役を担います。

#### ■お問い合わせ方法について

JAPAN TECH PROJECT についてのお問い合わせ先: [info@ces-japantech.jp](mailto:info@ces-japantech.jp)